

平成24年度 事務事業評価シート（平成23年度実績分）

事務事業名	都市計画マスタープラン改定事業		部課コード	1702	予算事業科目	010805010285	事	単	区分	継続
所管部署	担当部局	都市建設部	部局長名(2次評価者)	海治 甲太郎	個別事務	全部	010805010285	-		
	担当部署	都市計画課	所属長名(1次評価者)	和田 享仁						
	電話番号	088-823-9465	E-mail	kc-170200@city.kochi.lg.jp						

1 事業の位置付け

予 算 科 目 (平成24年度)	高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け									
会計	01 一般会計	大綱	05 まちの環	政策基本方針	本市は旧鏡村、旧土佐山村、旧春野町との合併により、都市機能の集積する都市部と自然豊かな中産間地域、うるおいのある田園地域を有する都市となりました。 都市部、中山間地域、田園地域それぞれの地域特性や資源、機能を活かしながら、自然環境と住環境の調和した魅力あるまちづくりを進めるために、バランスの取れた基盤整備を推進するとともに、住み訪れる人に潤いと安らぎを与える良好な景観の形成を図り、個性的で美しい都市をめざします。					
款	08 土木費	政策	01 美しく快適なまちの形成							
項	05 都市計画費	施策	01 バランスの取れた都市の形成							
目	01 都市計画総務費	区分	01 都市計画マスタープラン							

2 事業の根拠・性格

法律・政令・省令	都市計画法第18条の2	法定受託事務
県条例・規則・要綱等		
市条例・規則・要綱等		
その他(計画、覚書等)		

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	すべての高知市民			
意図	どのような状態にしていくのか	鏡村、土佐山村、春野町との合併、人口の減少、東日本大震災による危機管理体制の強化などの社会情勢の変化、また、2011高知市総合計画、高知広域都市計画区域マスタープラン(高知県)など上位計画の改定を背景に「都市計画の基本的な方針(都市計画マスタープラン)」を見直し公表することで、効率的で活力のある都市の実現に貢献しようとするもの。			
手段	事業実施体制等	都市計画マスタープラン策定委員会(市民参加)による計画策定、地域住民との話し合い、パブリックコメントなどとおして、広く市民の意見を反映した計画を策定していく。			
活動内容	どのような事業活動を行うのか	<ul style="list-style-type: none"> ○地震・津波など災害に強いまちづくり ○コンパクトで持続可能なまちづくり ○公共交通を活かした人や町が交流するまちづくり ○高知の歴史文化を活かした暮らしやすくにぎわいのあるまちづくり ○地域資源を軸とした産業を振興するまちづくり ○人とまちと自然が共生するうるおいとやすらぎのあるまちづくり 			
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方		
	A	既存計画の達成割合	計画に登載された事業の進捗状況の確認(平成15年度から平成23年度まで)		
	B	改定作業の進捗割合	委託業務の発注額		
	C				

4 事業の実績等

			21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(計画)	備考欄
成果指標	A	既存計画の達成割合	目標			100%	当初プランから始まるPDCAサイクルにおける成果指標 平成23~25年の改定作業における成果指標
		実績			60%		
	B	改定作業の進捗割合	目標			100%	
		実績			100.00%		
	C		目標				
			実績				
投入コスト	① 事業費	財源内訳	決算額(千円)			1,754	3,000
			国費(千円)			921	1,559
			県費(千円)				
			市債(千円)				
			その他(千円)				
			一般財源(千円)	0	0	833	1,441
		翌年度への繰越額(千円)					
	② 概算人件費等		人件費等(千円)	0	0	7,200	7,400
			正規職員(千円)	0	0	7,200	7,400
			その他(千円)				
			人役数(人)			1.00	1.00
			正規職員(人)			1.00	1.00
			その他(人)				
		総コスト=①+②(千円)	0	0	8,954	10,400	
		市民1人当たりコスト(円)	0	0	27		
	年度末住民基本台帳人数(人)	339,714	339,130	337,875			

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

都市計画マスタープラン改定の成果判断は、当初計画（Plan）を進めながら（Do）、見直しをかけ（Chek）、今後に活かす（Action）というサイクルが必要である。今回は、平成15年度の当初計画を、平成23年度時点で評価した。
改定作業の3年間の事業評価は、成果指標としては適当とは思えないが、進捗管理として補足的に明示した。

6 1次評価（所属長評価）

評価日（平成 23 年 8 月 31 日）

評価項目		評価基準	1次	平均 点数	評価内容の説明
事業実施の 必要性	① 〔施策体系等での位置付け〕 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく	A	5.0	都市計画マスタープランは、総合計画のビジョンを都市計画の視点から達成させるものであり、その実施効果は総合計画の実現に直接的にかかわる。 人口減少や少子高齢化の進展、地震・津波に対しては市民の関心が高く、その対策を都市計画マスタープランに記述し、市民と方向性を共有する意義は大きい。
		B (3) 一部結びつく			
		C (1) あまり結びつかない			
		D (0) 結びつかない			
	② 〔市民ニーズの傾向〕 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している	A		
		B (3) 横ばいである			
		C (1) 少ない、減少している			
		D (0) ほとんどない			
事業内容の 有効性	③ 〔成果の達成状況〕 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している	B	3.0	当初計画のうち全体構想部分に搭載した116事業について、その進捗を確認すると約60%となっており、概ね順調な達成度であると考えられる。 また、各事業の推進についても、それぞれに費用対効果の視点を重視しており、概ね妥当な事業活動である。 なお、今回の改定作業の進捗状況は、やや遅れ気味ではあるものの、年度当初に予定した作業は、確実に実施する。
		B (3) 概ね達成している			
		C (1) あまり順調ではない			
		D (0) 十分な成果を望めない			
	④ 〔事業の手法・活動内容〕 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である	B		
		B (3) 概ね妥当である			
		C (1) 検討の余地がある			
		D (0) 見直しが必要である			
事業実施の 効率性	⑤ 〔アウトソーシングの可能性〕 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない	A	5.0	事業内容に鑑みアウトソーシングはできないが、業務委託という形で、民間ノウハウの活用はしている。 都市計画マスタープランは、高知市総合計画や高知広域都市計画区域マスタープランと大きく関係しているが、いずれも上位計画であり、同時に実施することは困難である。しかし、これら上位計画の都市像や搭載しているデータなどは有効に活用し、無駄をなくすように努めている。
		B (3) 行政主体が望ましい			
		C (1) 検討の余地はある			
		D (0) 十分可能である			
	⑥ 〔事業統合・連携・コスト削減〕 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない	A		
		B (3) 概ね効率的にできている			
		C (1) 検討の余地がある			
		D (0) 十分可能である			
事業実施の 公平性	⑦ 〔受益者の偏り〕 事業の受益者が特定の個人（団体）等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い	A	5.0	計画策定の効果は、広く市民に及ぶ。また、市民参加による都市計画マスタープラン策定委員会、地域住民との話し合い、パブリックコメントなどをとおして、広く市民の意見を反映した計画策定を進めており、策定した計画は高知市ホームページで公表するので、極めて公平性が高い計画である。 計画策定費の財源は国の交付金を充当して、一般財源の投入を抑制しており、適正な受益者負担割合と考えられる。
		B (3) 概ね保たれている			
		C (1) 偏っている			
		D (0) 公平性を欠いている			
	⑧ 〔受益者負担の適正化〕 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である	A		
		B (3) 概ね適正な負担割合である			
		C (1) 検討の余地がある			
		D (0) 検討すべきである			
総合 点 18.0	総合 評価	○ A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)			
		B 経費削減に努め事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)			
		C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合)			
		D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)			

7 2次評価（部局長評価）

評価日（平成 24 年 9 月 14 日）

総合評価	評価理由・今後の方向性等
○ A 事業継続	1次評価のとおり
B 経費削減に努め事業継続	
C 事業縮小・再構築の検討	
D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項

--